

またも成功を収めた友好交流

肖 振嶺 (団長)

私が青少年代表団を引率して柏市を訪問することも今回で4度目となりました。誠に光栄に存じております。毎回訪問するたびに、柏市の友人の皆様より格別の御高配を賜り、訪問団団員一同、感激に堪えません。多大なる成果を得られましたことは、もちろん柏市、柏市民、柏市国際交流協会、承德委員会との密接な協力の賜物であり、柏市の皆様に心より敬服の意を表します。

両市の青少年の相互理解、相互認識並びに友情を深めることは、相手方の文化、経済、風俗、歴史、環境、一般市民の生活状況などの十分な理解につながるとともに、両国の親善協力の強化並びにアジアひいては世界の平和の維持増進に多大な意義を有するものであります。

この度の訪問期間中、市長との和やかな雰囲気での面会、ホストファミリーの皆様による至れり尽せりの手厚いお世話、承德委員会並びに国際交流室による入念な手配、関係部門による心のこもった接待など、代表団団員にとってすばらしい思い出となるものばかりでした。彼らの感想文に、その気持ちがよく表れています。

「百聞は一見に如かず」という言葉のとおりです。私を除いて、すべての団員が初めての訪日、初めての柏市訪問でありましたが、6日間の見聞を通じて得られた感銘、収穫、体験は、きわめて深く、豊かで、確かなものでした。様々な行事を通じて身をもって体験したことが、いかに彼らを感動させ、心を震えさせたか、別れの際の涙ながらの言葉が証明しているものと存じます。

このように成功を収めた交流行事が、柏市の友人の皆様の努力の賜物であり、汗の結晶であることは、私も承知しております。多くの生徒が感想文の中で、市立柏高等学校の吹奏楽団による歓迎式典と、市役所で行われた心のこもったすばらしい歓迎夕食会のことに触れています。特に李治さんが長文に記してくれた訪問記録と個人的感想には、私も驚かされました。彼らは、注意深く真剣にこの6日間の体験を受け止め、正直に心から感じたこと、得られた収穫を語ってくれています。

したがって、今回の友好交流活動も多大な成果を収めることができたものと思っております。これを絶やすことなく継続していこうではありませんか。両国の世々代々にわたる友好への期待は実現できるでしょう。



ここに再び、この事業に尽力された友人の皆様に心より感謝申し上げます。

両市の市民並びに青少年の親善友好が長く続くことを祈念いたします。

2008年3月4日

肖振嶺団長（中央）、引率者の紀秀茹（左）と楊華さん